

小海中だより

2023. 4. 19
NO. 1

小海中学校ホームページ<<http://www.koumi-jhs.ed.jp/>>からもご覧いただけます。



34名の新入生と4名の教職員を迎えて、令和5年度スタート

4月6日（木）に着任式・入学式・始業式が行われ、令和5年度の小海中学校がスタートしました。新型コロナウイルスの感染も徐々に落ち着きを見せてきています。新しく本校に4名の職員が着任しました。

《入学式での、学校長式辞》

真っ白だった山々の頂が緑色に染まり、日に日に気温が高くなってまいりました。この度は、小海町 町長様、北相木村 村長様、南相木村 村長様をはじめ、教育委員会の皆様、PTA会長様のご臨席を賜り、令和五年度 組合立小海中学校の入学式・始業式を挙行できますことを心から感謝し、厚く御礼申し上げます。



三十四名の新入生の皆さん、小海中学へのご入学、おめでとうございます。新しい制服に身を包み、中学への進学を果たした皆さんは今どんな気持ちでしょうか。希望や期待に満ちた気持ち、新しい環境への不安な気持ち、いろいろな思いが入り混じっているのではないのでしょうか。皆さんは小学校六年間を経て、中学校の義務教育三年間に臨みます。中学の三年間は、自分の可能性の芽を探る時間であると同時に自分の将来について真剣に考える時間でもあります。三年後に、卒業するとき自分の進みたい道を自分の言葉で語るができるよう日々の経験を大切にとらえてほしいと思います。

二年生、三年生の皆さん、進級おめでとうございます。皆さんもまた新入生と同じように、それぞれに決意を新たにして、新しい学年で、自分への挑戦をしていく気持ちに満ちていることと思います。しかし、人間というのは日常の中で最初の気持ちを失ってしまったり忘れてしまったりすることがあります。今の思いを、ぜひ一年間持ち続けるよう心がけてください。

小海中学校百十名の皆さんへ、年度の初めにあたり一つの言葉を紹介したいと思います。その言葉とは「雪に耐えて梅花麗し」です。かの西郷隆盛の詩ともいわれアスリートの中にもこの言葉を好む選手は多いそうです。意味は、春の梅の花が見事に咲くのには、冬の雪にさらされる厳しさをじっと耐えたからだ。というように解釈されます。人生の中で、すべてうまくいくということはまずなく、苦しい時期やうまくいかないことや失敗をすることがあるかと思います。そんなときに、チャレンジを投げ出すのではなく、立ち止まってもいいので考え、工夫しエネルギーに変えていってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。この3年間、新型コロナウイルス感染症に多くのことが延期になったり中止になったりしてきました。今年は、多くの規制が緩和されることが予想されますが、不測の事態が起きることも考えられます。教職員一同、お子様の健康・安全を第一に考えながら、楽しく充実した学校生活を送れるように心を合わせ教育に当たりたいと考えます。ご理解やご協力をお願いすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。ご心配な点がございましたら遠慮なく学校までご連絡ください。家庭、地域、学校が連携し、生徒の未来のためにもともに歩んでいけますよう最善を尽くしたいと考えております。小海中学校全生徒が豊かに成長できますことを祈念して式辞といたします。

令和五年四月六日

小海町北相木村南相木村 中学校組合立小海中学校長

3年生は修学旅行に行ってきました

3年生は、4月11日（火）から13日（木）まで奈良京都方面へ修学旅行に行ってきました。2日目は小雨に降られましたが、基本的に好天に恵まれました。そして何より、大きなケガや病気がなく行ってくる事ができたことが最大の収穫ではないでしょうか。この行事できっと3年生は大きく成長したことでしょう。

